

6 保育福祉科 昼間コース 1年次

	講 義 名	開講時期・単位数	
		前 期	後 期
保育士養成課程 教 養 科 目	体育Ⅰ	2(b)	2(a)
	体育Ⅱ		1
保育士養成課程 必 修 科 目	保育原理	2	
	教育原理	2	
	児童家庭福祉		2
	社会福祉	2	
	社会的養護	2	
	保育の心理学Ⅰ	2(a)	2(b)
	保育の心理学Ⅱ		1
	子どもの保健Ⅰ a	2	
	子どもの保健Ⅰ b		2
	子どもの保健Ⅱ	1	
	子どもの食と栄養		2
	保育課程論		2
	保育内容総論		1
	乳児保育	2	
	社会的養護内容		1
	保育表現技術・幼児体育Ⅰ		1
	保育表現技術・楽典	1	
	保育表現技術・ピアノⅠ	1	
	保育表現技術・造形Ⅰ	1	
	保育実習指導Ⅰ a		1
保育実習指導Ⅰ b		1	
保育士養成課程 選 択 必 修 科 目	保育表現技術・ピアノⅡ		1
	保育表現技術・造形Ⅱ		1
必 修 科 目	実習研究概論	2	
	クラスルームⅠ	1	
合 計 単 位 数		21	19
		40	

(a) = aクラス、(b) = bクラス

科 目	体育Ⅰ	講 師	大羽 留美子・宮脇 裕子
授業目標	<p>健やかで充実した人生を歩んでいける様、健康を支える栄養、休養そして運動の効用を考え、簡単かつ実質身体に有効で楽しい療法を体験しながら、健康維持増進できる意欲を培いたい。</p> <p>脳と心と体の免疫システムを学びながら、長引くストレスによる体力低下回避の方策を考察する。</p> <p>バイタリティーを養う為、時折レクリエーション的運動を実施する。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 休養の要、ぐっすり睡眠のメカニズム 2. 健康づくりの為の防衛体力を支える免疫力向上の生活習慣、性格行動パターン診断 3. 競技スポーツを支える行動体力 トレーニングを安全に行う為の筋肉との関係 4. 筋肉疲労、血行促進に効く香りによるリンパマッサージ 5. 運動の現場で知っておくべき各ライフステージの安全限界と有効限界について 6. 頑張っているときの交感神経を副交感神経にギアチェンジするメリット 7. 免疫低下を招くストレスを解消するスポーツの効用、各種セラピー 8. 健康づくりの運動の具体的方法、リラクゼーション；ヨガストレッチ・ピラティス 9. レジスタンス運動としての体幹トレーニング、有酸素運動、肩こり腰痛体操 10. 食べる免疫力、うつにならない為の栄養学 11. 体育教育の現場に、トレーニングの5原則を取り入れる工夫 12. リバウンドしないダイエット、メタボにならない生涯スポーツとの関わり方 13. 音楽のワクワク感が免疫力を高めるダンスセラピー 14. 音楽を伴う身体表現活動の幼児に与える友達との共感作用 15. テーマをグループで検討し創意工夫して発表 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……『健康増進科学概論—運動、栄養、休養—』今村裕行著他 東京教学社</p> <p>参考書……随時資料を配布するので、ファイルノートを作成して下さい。</p>		
評 価 の 方 法	<p>出席第一。グループで体育と健康に関するテーマを選択し、課題を調査研究し独創的に考察しレポートする。発表への貢献度</p>		

科 目	体育Ⅱ	講 師	松村 朋子
授業目標	<p>本授業では、幼児教育における「幼児体育」のねらいを把握して、幼児主体の運動遊びを保育の中でどう展開していくか、その指導法を学習する。同時に、保育者自身も心身ともに健康な身体を保つことができるように、様々なスポーツや動きを体験していく。また、実際に指導案を作成して、模擬実習を経験することで、新たな課題を見つけて解決していく能力を養っていく。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼児期にとって、遊びとは何か。運動の必要性、ステップ 2. 小型遊具を使った遊び1 フープ 3. フープを使って遊びを考える 4. 小型遊具を使った遊び2 縄 5. 小型遊具を使った遊び3 ボール 6. 縄とボールを使って遊びを考える 7. 身近なものを使った遊び 新聞紙 棒 リボン 8. 身近なものを使って遊びを考える 9. 幼児のリズムダンス1 フォークダンス 10. 幼児のリズムダンス2 動物体操オリジナル 11. 年齢に相当したあそびの模擬指導準備1 12. 年齢に相当したあそびの模擬指導準備2 13. 指導案の模擬実習① 14. 指導案の模擬実習② 15. ステップのテスト、指導案の評価 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……未定</p> <p>参考書……特に指定なし 初回からA4サイズのノートを持参</p>		
評 価 の 方 法	<p>出席、受講態度、授業中の積極性を重視。授業記録ノートを最後に提出。 服装は体操着（ジャージ、Tシャツ）、胸にB5サイズの名前をつける。見学不可。</p>		

科 目	保育原理	講 師	関根 久美
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の意義、保育の歴史など保育にかかわる基本的な事項を学ぶ。 ・ 保育環境、保育方法などの保育の展開について学ぶ。 ・ 保育所保育指針における保育の基本について理解する。 ・ 保育の現状と今後の課題について理解する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 保育とは何か(1) 3. 保育のねらいと内容 4. 保育所、幼稚園、認定こども園 5. 環境を通して行う保育 6. 生活と遊びを通しての保育 7. 保育所保育の原理（保育所保育指針） 8. 保育の計画及び評価(1) P D C Aサイクル 9. 保育の計画及び評価(2) 記録と評価 10. 保育の思想と歴史(1) 11. 保育の思想と歴史(2) 12. 保育の現状と課題(1) 13. 保育の現状と課題(2) 14. 保育とは何か(2) 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……コンパクト版保育内容シリーズ『保育原理』一藝社 参考書 ……『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園保育教育要領』		
評価の 方 法	出席・授業態度、提出課題、定期試験等による総合評価		

科 目	教育原理	講 師	水引 貴子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育の意義や目的を理解し、自分なりに説明できる。 ・ 教育思想の変遷を学び、現代の教育を多角的に捉えられる。 ・ わが国と諸外国の教育制度を理解したうえで、幼児教育の位置づけを考えられる。 ・ 教育の今日的課題を捉え、それらの解決に向けて自己の考えを述べることができる。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 教育観を支える子ども観 3. 諸外国における教育の歴史(1) 4. 諸外国における教育の歴史(2) 5. 日本における教育の歴史(1) 6. 日本における教育の歴史(2) 7. 現代の教育的課題 8. 中間まとめ 9. 教育課程と学校文化 10. 学習指導要領の変遷 11. 社会とつながる学校 12. 諸外国の教育制度 13. 子どもへの支援 14. まとめ 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……適宜紹介する		
評価の 方 法	出席、毎回のリアクションペーパーおよびワークシート、授業態度、試験による総合評価		

科 目	児童家庭福祉	講 師	谷本 史於里
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・児童家庭福祉の取り組みを支える法律や具体的な制度について学ぶ。 ・児童福祉施設について基本的な事項を学び、具体的なイメージを掴む。 ・児童虐待・少子化問題などの児童を取り巻く現象について考える機会とする。 ・子どもの権利が築きあげられた歴史的背景と「子どもの権利に関する条約」について学ぶ。 ・保育という専門職の立場から、子どもや家族に対する倫理観を深める機会とする。 ・日本の子どもの施策と現状を学ぶと共に、事例を通して世界の子どもを取り巻く現状にも目を向け、グローバルな視点を持つ機会とする。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 児童家庭福祉とは～オリエンテーション～ 2. 子どもの権利を巡る歴史的背景 3. 子どもの権利と現代社会 4. 児童家庭福祉を支える法律 5. 児童家庭福祉における行政機関(1) 6. 児童家庭福祉における行政機関(2) 7. 児童福祉施設(1) 8. 児童福祉施設(2) 9. ひとり親家庭に対する施策と現状 10. 里親制度について 11. 子どもの健全育成～日本の現状と海外の事例～ 12. 障害のある子どもに対する施策と現状 13. 非行児童に対する施策と現状～日本の現状と海外の事例～ 14. 母子保健サービス 15. 保育サービス 		
教科書 及び 参考書	教科書 …… [改訂2版] 新保育士養成講座第3巻『児童家庭福祉』全国社会福祉協議会 参考書 ……特に指定はないが、授業の中で紹介する		
評 価 の 方 法	出席状況および受講態度、授業内での小テスト、試験による総合評価		

科 目	社会福祉	講 師	久利 要子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷について理解する。 ・社会福祉と児童福祉及び児童の人権や家庭支援との関連性について理解する。 ・社会福祉の制度や実施体系等について理解する。 ・社会福祉における相談援助や利用者の保護にかかわる仕組みについて理解する。 ・社会福祉の動向と課題について理解する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉の理念と概念 2. 社会福祉の歴史の変遷 3. 社会福祉の一分野としての児童家庭福祉 4. 児童の人権擁護と社会福祉 5. 家庭支援と社会福祉 6. 社会福祉の制度と法体系 7. 社会福祉行財政と実施機関 8. 社会福祉施設等 9. 社会福祉の専門職・実施者 10. 社会保障及び関連制度の概要 11. 社会福祉における相談援助の意義と原則 12. 社会福祉における相談援助の方法と技術 13. 社会福祉における利用者の保護にかかわる仕組み 14. 社会福祉の動向と課題 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育士をめざす人の社会福祉』(株)みらい、『社会福祉小六法』ミネルヴァ書房 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席および受講態度、レポート、試験による総合評価		

科 目	保育の心理学Ⅰ	講 師	神谷 路子
授業目標	「子どもたちが健全に発達するために必要なこと」を理解しながら、保育を実践する際に必要な心理学の基礎知識を学ぶ。		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育と心理学 2. 生涯発達について 3. アタッチメント 4. 乳幼児期の知覚・思考の発達 5. 子どもの行動、運動について 6. 社会性の発達 7. 子どもの学習と保育現場 8. 人間関係の発達 9. 子どもの発達と保育 10. 関わりが難しい子への対応について 11. 遊びの発達 12. 発達障害について 13. 心と体の健康 14. 試験 15. まとめの授業 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『たのしく学べる乳幼児の心理 改訂版』福村出版 参考書 ……授業で指定		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、試験等による総合評価		

科 目	保育の心理学Ⅱ	講 師	大谷 由利子
授業目標	<p>本科目では、認知・記憶・自己概念・社会性・学習について、各時期に見られる発達の特徴を学びます。</p> <p>授業では、毎回テキストを読み進めながら発達心理学と教育心理学の専門知識や用語を学んでいき、他教科でもその知識や用語を用いて表現できることを目標とします。</p> <p>子どもがどのようにして1人の大人になっていくのか、その発達過程を正しく理解することは、子どもの行動を理解し、適切な支援や介入に繋がることと考えています。</p>		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 発達とは 3. 発達の各時期（乳児期） 4. アタッチメント理論 5. アタッチメントはどこから形成されるのか 6. アタッチメント発達の段階 7. 発達の各時期（幼児期） 8. 自己概念と自己認知 9. 発達の各時期（学童期、青年期）及びエリクソンの発達理論 10. 学習理論（古典的条件づけ） 11. 学習理論（道具的条件づけ） 12. 学習理論（観察学習と攻撃性） 13. 遺伝と環境 14. 教育の役割（ゲゼル・ブルーナー・ヴィゴツキーの各理論） 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『やさしい発達と学習』有斐閣アルマ 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、授業内に仕上げていくワークシートの内容と試験		

科 目	子どもの保健Ⅱ	講 師	竹岡 紀子
授業目標	<p>この授業を通して、保育現場で保健活動を展開できる基礎を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境について考える。 ・子どもの疾病とその予防、適切な対応について学ぶ。 ・救急時の対応や事故防止、危機管理について学ぶ。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 子どもの発育・発達 3. 日常生活の援助—手洗い・抱き方・おむつ交換・衣服の着脱 4. 身体の計測と発育評価 5. おむつ実験 6. おむつ交換時の観察ポイント 7. 子どもの疾病と看護—バイタルサイン 8. 子どもの疾病と看護—最近の健康問題 9. 日常生活の援助—沐浴・スキンケア 10. 日常生活の援助—沐浴・スキンケア 11. 子どもの事故の特徴と安全対策 12. 応急処置 13. 救急蘇生法 14. 試験 15. まとめ 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書…… “子どもの保健Ⅰ” で使用するテキスト</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	受講態度、レポート、試験などによる総合評価		

科 目	子どもの食と栄養	講 師	島村 憲子
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を学ぶ。 2. 子どもの発育と発達と食生活の関連について理解を深める。 3. 食育の基本とその内容、食育のための環境を理解する。 4. 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について学ぶ。 5. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの心身の健康と食生活について 2. 子どもの食生活の現状と課題 3. 栄養素について、働きと疾病との関係、含有食品など 4. “ ” 5. “ ” 6. “ ” 7. “ ” 8. 日本人の食事摂取基準、食品群について 9. 乳汁期の栄養と食生活 10. 離乳期の栄養と食生活 11. 幼児期の栄養と食生活 12. 幼児期の食生活上の問題 13. 施設における食生活、特別な配慮を要する子どもの栄養と食生活 14. 食育の基本と内容 15. まとめ・試験 <p>炭水化物 脂質 たんぱく質 ビタミン 無機質</p>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……『発育期の子どもの食生活と栄養』学建書院 『はじめての食品成分表』女子栄養大学出版社</p> <p>参考書……その時々参考になるものを紹介</p>		
評 価 の 方 法	出席、レポート、試験による総合評価		

科 目	保育課程論	講 師	平澤 順子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育計画の必要性とその基本を学ぶ ・ 子どもの発達に即した指導計画の作成について学び、習得する ・ 年齢別の発達の特徴と保育者の援助、環境構成の留意点を学ぶ 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 保育課程の意義と種類 3. 保育の基本と計画の考え方 4. 指導計画の種類と役割 5. 保育における計画の考え方 —0、1、2歳児を中心に— 6. 保育における計画の考え方 —3、4、5歳児を中心に— 7. 小学校における計画との関係 8. 保育における計画の変遷 9. 保育における保育内容 —領域「健康」、「人間関係」の考え方— 10. 保育における保育内容 —領域「環境」、「言葉」、「表現」の考え方— 11. 指導計画の実際 —週案から日案の作成 3歳児を対象に— 12. 指導計画の実際 —0、1歳児— 13. 指導計画の実際 —5歳児— 14. テスト 15. まとめ 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……『保育課程・教育課程総論』ミネルヴァ書房、『保育所保育指針』</p>		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、テスト等による総合評価		

科 目	保育内容総論	講 師	中村 悦子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所保育指針を基に保育全般を知る。 ・ 子どもの生活全体を通し、養護と教育が一体的に展開していくことを学ぶ。 ・ 多様化する社会情勢の中での保育所の在り方、役割を知る。 ・ 身近に起きている虐待を考える。 ・ 手遊び、絵本、読み聞かせ等々実技を学ぶ。 ・ 子育てに不安を抱えている地域社会への子育て支援について学ぶ。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（授業の進め方や授業態度） 2. 保育所指針にふれる「保育所」「幼稚園」 3. 保育所指針から① 4. 保育所指針から② 5. } 6. } 7. } 子どもの発達 8. } 9. } 10. } 11. 発達発表 12. 子どもになって体験しよう 13. 虐待の現状 14. 地域の子育て支援 15. テスト 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……『保育所保育指針』チャイルド社</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	授業態度重視、出欠席、提出物、授業内でのテストの総合評価		

科 目	乳児保育	講 師	中村 悦子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「0、1、2歳」の最も重要な時期の発達を学ぶ。 ・乳児期の「手をかけ！目をかけ！言葉かけ！」を具体的に学び、実践に繋げていけるようにする。 ・手遊び、折り紙、絵本、読み聞かせ等々実技を身につける。 ・子育てに不安を抱えている地域社会への子育て支援について学ぶ。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（授業の進め方や授業態度） 2. 0歳児室（乳児室） 3. 乳児保育の基本 4. 乳児保育の基本 5. 乳児保育の基本 6. 赤ちゃんの12ヶ月 7. 赤ちゃんの12ヶ月 8. 赤ちゃんの排泄 9. 赤ちゃんの食事 10. 赤ちゃんの睡眠 11. 1歳児の発達 12. 1歳児の保育 13. 2歳児の発達と保育 14. おもちゃを作ってみよう 15. 地域社会の子育て支援と現状 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……『やさしい乳児保育』青踏社</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	授業態度重視、出欠席、提出物、授業内でのテストの総合評価		

科 目	社会的養護内容	講 師	北川 裕子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利擁護、保育士の倫理等、事例を通して学び、保育士や施設の役割について理解する。 ・社会的養護の実際について学ぶ。 ・支援計画を作成し、施設でのケアの内容やその意図を学ぶ。 ・社会的養護に関するソーシャルワークの方法・技術について理解する。 ・家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉について理解や認識を深める。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本原理等の復習、子どもの権利擁護 2. 保育士の資質と倫理・責務、チームワーク 3. 社会的養護の実施体系（特性及び実際） 4. 施設養護の支援内容①入所、日常生活援助 5. 〃 ②集団生活、家族調整 6. 〃 ③性教育、自立支援 7. 〃 ④退所、アフターケア 8. 〃 ⑤記録の意味、個別支援計画の作成 9. 保育士の専門性にかかわる知識・技術とその応用① 10. 〃 ② 11. ソーシャルワークにかかわる知識・技術とその応用 12. 今後の施設の方向性（小規模化等） 13. 児童福祉施設と地域とのかかわり 14. 社会的養護の課題と展望 15. まとめ・試験 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……『社会的養護』で使用したテキストを持ってきて下さい。</p> <p>参考書……『児童の福祉を支える 演習 社会的養護内容』</p>		
評 価 の 方 法	出席、授業態度、提出物、試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・ピアノⅠ	講 師	石田 延江・佐藤 季里・島内 亜津子 杉橋 祥子・前原 貴子・山崎 洋子・渡辺 容子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノの基礎演奏技術を学ぶ（へ音記号導入以上を目安とする）。 ・簡単な子どもの歌を弾き歌いできるようにする。 ・楽しい生き生きとした音楽表現を目指してピアノの練習を日々心掛ける。 ・毎回の個人レッスンについて、進度表に記入していく。 （備考）経験者については初心者と同じ曲から始めて、自分のテクニックを確認しつつ、さらにピアノⅡの内容に進んで下さい。		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 個人レッスン：導入～両手で弾く（全音符・4分音符・2分音符・付点・休符について） 3. 〃 ：拍子記号・リピート記号 4. 〃 ：異なる左右の指の動き 5. 〃 ：スラー（滑らかなフレージングの演奏）の表現 6. 〃 ：タイの奏法 7. 〃 ：8分音符の導入 8. 〃 ：8分音符の導入 9. 〃 ：付点4分音符・8分音符の奏法 10. 〃 ：大譜表、へ音記号の読み方 11. 〃 ：大譜表、へ音記号の読み方 12. 〃 ：「むすんでひらいて」を弾いてみよう 13. 〃 ：ハ長調の弾き歌い演習 14. 〃 ：実技試験発表曲の徹底練習 15. 実技試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『おとなのためのバイエル教本』ドレミ楽譜出版社 『こどものうた100』チャイルド本社 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・造形Ⅰ	講 師	目黒 祥元
授業目標	課題の実習を通じて、造形表現の基本的知識と技術を学び、造形表現の基本を理解する。 クレヨン、粘土、水彩絵具などを使った実習を毎回行い、完成作品は提出する。 ※はさみ、鉛筆（B～3B程度）を持参して下さい。		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 造形課題の制作（課題は当日発表します） 2. 〃 3. 〃 4. 〃 5. 〃 6. 〃 7. 〃 8. 〃 9. 〃 10. 〃 11. 〃 12. 〃 13. 〃 14. 〃 15. 〃 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	課題作品の提出、出席状況、実習への取り組み方による総合評価		

科 目	保育実習指導 I a	講 師	水引 貴子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な学習体験である保育所実習を有意義なものにするために必要な事項を学ぶ。 ・実習に臨む目的意識、社会人としての常識を身につける。 ・実習日誌の記載方法を体得する。 ・学生自身が立案、作成した指導案や制作物の発表を行う。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実習の概要 2. 保育所の概要と社会人としての心構え 3. 保育所の1日の流れと保育内容の理解 4. 自己紹介・スケッチブックシアターの制作① 5. 自己紹介・スケッチブックシアターの制作② 6. 実習日誌を書く意義と記入の仕方 7. 幼児クラスの実習日誌の書き方 8. 乳児クラスの実習日誌の書き方 9. 実習目標を立てる① 10. 実習目標を立てる② 11. 実習に伴う書類の作成、事務手続きの確認 12. グループワークによる手遊びの指導案作成と発表① 13. グループワークによる手遊びの指導案作成と発表② 14. まとめと振り返り 15. 試験 ※随時、漢字テスト、保育者としての常識などを問う小テストを実施する 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『幼稚園・保育所・施設実習完全ガイド〈第2版〉』ミネルヴァ書房 参考書 ……授業内で配布したプリントはまとめておく		
評 価 の 方 法	出席状況（無断欠席不可）、授業態度、小テスト、提出物、発表、試験等による総合評価		

科 目	保育実習指導 I b	講 師	東郷 結香
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な学習経験である施設実習を有意義なものにするために必要な事項を学ぶ。 ・児童福祉施設の入所児、職員に対する理解を深める。 ・実習に臨む目的意識、問題意識を育てる。 ・実習日誌の記載方法を体得する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施設実習の意義と目的 2. 児童福祉入所・通所施設実習の意義と目的 3. 児童養護施設について 4. 乳児院について 5. 知的障害児・者施設について 6. 母子生活支援施設について 7. 実習日誌の理解と演習① 8. 実習日誌の理解と演習② 9. 実習目標を立てる 10. 施設別講義① 11. 施設別講義② 12. 施設別講義③ 13. 実習に伴う書類の作成、事務手続きの確認 14. まとめと振り返り 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況（無断欠席不可）、授業態度、発表、提出物、試験等による総合評価		

科 目	保育表現技術・ピアノⅡ	講 師	石田 延江・石原 奈保子・島内 亜津子 杉橋 祥子・鍋島 久美子・前原 貴子・山崎 洋子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノⅠに引き続き、ピアノの基礎表現技術を学んでいく。 ・現場で使える生活の歌や童謡の弾き歌いレパートリーを増やしていく。 ・日々の自己練習を積み重ねることで、個人レッスンで音楽表現の楽しさや共有する喜びを体験する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 個人レッスン：大譜表、へ音記号の復習 3. 〃 ：跳躍するメロディーの指の使い方（指替え、指広げ等） 4. 〃 ：ハ長調の音階練習 5. 〃 ：3連符と16分音符 6. 〃 ：イ短調の音階 7. 〃 ：ト長調の音階と曲 8. 〃 ：ト長調の童謡 9. 〃 ：ニ長調の音階と曲 10. 〃 ：ニ長調の童謡 11. 〃 ：ヘ長調の音階と曲 12. 〃 ：ヘ長調の童謡 13. 〃 ：生活の歌 14. 〃 ：実技試験の曲の徹底練習 15. 実技試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『おとなのためのバイエル教本』、『こどものうた100』チャイルド本社 参考書 ……『始めよう！弾き歌い』		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・造形Ⅱ	講 師	高木 秀文
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の発達段階に見られる特徴的で独特な表現の形（なぐり描き、見立て、頭足人、ら列、展開表現）を模擬的に体験して、この時期の造形活動への理解と興味を深める。 ・一方、保育現場で応用の出来る実践的な制作課題を用意して各々の造形実習レベルを強化していく。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「ガイダンス」授業内容、評価、用具教材について。他、児童画鑑賞コメント。 2. 「児童の表現」幼児期の描画を模擬的に体験する。 3. 「児童の表現2」幼児期の描画を模擬的に体験する。 4. 「お話の絵」むかし話を読み、その中の一場面を絵に描く。 5. 「お話の絵2」むかし話を読み、その中の一場面を絵に描く。 6. 「児童の表現3」幼児期の描画を模擬的に体験する。 7. 「表現の類型復習」前半で行った幼児期の表現に関するテスト形式の復習。 8. 「表情表現の工夫」顔面にとどまらず身振りや動作で感情を絵画表現する。 9. 「貼り絵人形作り」性別、年齢、名付けをしてヒト型キャラクターを作る。 10. 「貼り絵人形作り2」複数の人形を作り情景や物語背景を考える。 11. 「各種表現技法」幼児期に適した絵の具やパス類を用いた技法を体験、理解する。 12. 「各種表現技法2」幼児期に適した絵の具やパス類を用いた技法を体験、理解する。 13. 「各種工作」主に紙粘土・色紙を使った工作を行う。 14. 「各種工作2」主に紙粘土・色紙を使った工作を行う。 15. 「表現技法の理解」後半で行った表現技法に関するテスト形式の復習。 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『絵画・製作・造形あそびカンペキBOOK』ひかりのくに 参考書 ……『保育をひらく造形表現』萌文書林		
評 価 の 方 法	出席状況・テスト・受講態度による総合評価		

科 目	実習研究概論	講 師	菊池 一英
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に向けての心がまえ全般を学びます。 ・実習が何年次のいつの時期に実施されるかを学びます。 ・保育所、その他施設について概論的に学びます。 ・実習生としてのマナーと常識を身につけます。 ・実習に向けての書類とオリエンテーションの準備をしっかりと行います。 		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（保育職、実習とは何か？） 2. 実習計画ガイダンス（公務員模擬テスト、証明写真について） 3. 保育所について（児童福祉施設最低基準とは？） 4. 保育所実習について① 5. 保育所実習について② 6. 児童福祉施設について 7. 児童福祉施設の実習について 8. 保育現場から学ぶ（ビデオ学習） 9. 実習のための実技指導（手遊び他） 10. 実習生として求められるマナーと常識 11. 事前のオリエンテーションに向けて（電話のかけ方、入退出、自己紹介等） 12. 実習から就職へのストーリー（公務員試験対策含む、保育実習Ⅱについて） 13. 福祉職への就職とは？ 14. 定期試験及び履歴書指導 15. 保育士の決意と覚悟（ビデオ学習） 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	平常点（無断欠席は認めない）ミニテスト、レポート、定期試験で総合評価します		

科 目	クラスルーム I	講 師	今泉 良一・水引 貴子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活がより安定し、充実したものとなるよう、適宜必要なことを行う時間とする ・学生への連絡事項、留意事項、指導を行い、相互に理解を深める ・学校生活上で生じた問題や悩みに対して、個別の時間を設けサポートする ・クラス活動を通して、協調性や社会性、コミュニケーション力を養う ・クラスが団結して、お互いの学校生活を豊かなものとするよう考え、実践する 		
授 業 の 画 計	<前期> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入学時オリエンテーション(1) 2. 入学時オリエンテーション(2) 3. クラス活動 4. 個人面談 5. 個人面談 6. 個人面談 7. クラス活動 8. 個人面談 9. 個人面談 10. 個人面談 11. クラス活動 12. クラス活動 13. 前期の自己点検 14. 前期の自己点検 15. 夏季休暇、後期にむけた目標設定 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出欠状況、学校生活態度を総合的に評価する		